

2023年 6月22日発行 会報第1150号

今週のプログラム

(2023年6月22日 第1150回例会)

会長・幹事 退任挨拶

優良出席表彰

担当：山田 克子会長・山本 友亮幹事
黒川 彰夫 SAA

次週のプログラム

(2023年7月6日 第1151回例会)

会長・幹事 就任挨拶

担当：藤田 芳浩会長・水島 洋幹事

第1149回例会 (2023年 6月15日) の記録

「会長の時間」

山田 克子 会長

先週の創立 25 周年記念例会式典、祝宴ありがとうございました。皆様のおかげで無事に終わりました。また二次会にご参加して福島 21 ロータリークラブの皆さんをもてなして下さった会員の方々、遅くまでありがとうございました。また、翌日早朝から滋賀県までゴルフでもてなして下さった会員の方々ありがとうございました。25 周年記念例会をふりかえりますと様々なことが本番までにありました。思えば会長の仕事は会長挨拶だけで、山本幹事にはたくさんのご苦勞をおかけしました。自分自身の体調はじめどうなることかと思いつつも、来客の方々に喜んでいただけることはないかと考えた時に、山田千尋さんが歌う時にお花を一輪お渡ししていくことをひらめき、歌う千尋さんにそれは迷惑でないかも含めてお尋ねしたら、「素敵です、是非やりましょう」と言ってくれました。本当は祝宴の最後にマイクをお借りしてこう話す予定でいました。「お渡ししたお花は、返ってご迷惑になるかもしれず申し訳ありません。どうかテーブルの上に置いて帰って下さって構わないお花です。バラが 5 本集まると、会えてよかったと言う意味があることを知りました。山田千尋さんから皆様それぞれにバラ一輪をお渡しした時点で、お会いできてよかった、と皆様の心にお伝えしたお花でした」と。ところが最後に近づきますと賑やかに歌う会のようになり、私自身もマイクを通してお花の話をお伝えすることを忘れてしまいました。皆様にも持ち帰って頂きにくいものをお客様にお渡しすることは失礼ではないかとご忠告を受けるなあと思いつつも当日まで小さな秘密にして実行してしまいました。それでも皆様と一緒に楽しめた創立 25 周年記念例会、ありがとうございました。



<出席報告> 水島 洋 SAA 補助

会員数 (内出席免除会員 1 名) 19 名

・6月8日の出席者数 17 名

(内出席免除会員 1 名 名誉会員 1 名)

出席率 84.21%

・6月15日の出席者数 11 名

(内出席免除会員 0 名 名誉会員 0 名)

出席率 61.11%

<ロータリーソング>

全会員

♪限りなき道ロータリー♪

<本日のピアノ曲>

近藤 美里さん

1. イパネマの娘

2. Smile

3. But Not For Me

4. Take Five

<幹事報告>

山本 友亮 幹事

1. 茨木西 RC より例会場移転のお知らせがありました。

●例会場 割烹 片桐 2F 〒567-0882 大阪府茨木市元町 6-3

●電話 072-626-2722

●ビジターフィー ¥3500

●変更日 2023年7月より (例会日変更無し 水曜日 18:30~19:30)

2. 千里 RC より創立 50 周年関連事業・記念式典・祝宴出席に対するお礼状が届きました。

3. 本日例会終了後、理事会を開催致しますので、理事・役員はご出席下さい。

<フラインセッション>

山本 友亮 幹事

例会場拠金 ¥14,162

皆様ご協力ありがとうございました。



<本日のお料理>



- ・冬瓜の冷製・茸のサンラータン・季節野菜の炒め・丹波黒鶏の揚げ物・肉団子の煮込み
- ・ご飯とザーサイ・マンゴープリン

<SAA報告>

水本 徹 SAA 補助

※スマイルボックス

なし

※ラオス基金

黒川会員

25周年記念 おつかれさまでした。

※ロータリー財団

高尾会員

早退のおわび。

山田会員

友ちゃん 1年間ありがとう。

※米山記念奨学会

山田会員

先週は皆さんありがとうございました。

高尾会員

コメントなし

※メイプル基金

相原会員

出席表彰を受けて

水島会員

先週の25周年記念例会は、皆様ご苦勞様でした。

藤田会員

25周年記念例会、皆様の御協力で無事開催！！

ありがとうございました。

山本（友）会員

皆様25周年ありがとうございました。

福島21RCより

水本会員

25周年お疲れさまでした。今年度もあと2回になりました。

黒川会員

先週はおつかれ様でした。



アセンブリー《今年度活動総括》 司会進行 山本 友亮 幹事

山田 克子会長

今年度を振り返り、石田夕子会員と岸上会員がクラブに戻ってきて下さった事が嬉しかったです。昨年の7月7日の七夕にスタートした今期でしたが、コロナ感染拡大により7月14日から早くもZOOM例会となりました。やっと9月22日にお月見例会で実例会となりました。10月20日の宮里ガバナー公式訪問のあと、12月22日藤田親睦委員長のご尽力でクリスマス例会を行い、2023年1月4日の新年例会、4月6日は箕面山荘 風の杜でお花見移動例会を開催することができました。そして6月8日は創立25周年記念例会が行われ、皆様のご協力のおかげで無事に終えることができました。私は今年度のImagin Rotary というテーマは好きでした。宮里ガバナーの年次目標は色々ありましたが、千里メイプルは千里メイプルらしく、おのおのが粛々と活動できたと思います。

【SAA】

黒川 彰夫会員

ZOOM例会からリアル例会に戻り、家族的な雰囲気でお互いの運営されるようになりました。一方、出席率の低下は当会の存続の根幹に関わることですが、これが恒常化し50~60%程度でも驚かなくなってしまいました。その原因については今後、理事会や会員同士で真摯に考える必要があると考えています。

【プログラム担当】

松田 親男会員（代読 山本幹事）

昨今のプログラム委員会の課題は、会員数減少に伴い必然的に増加する会員の卓話回数増加をいかに軽減するかです。昨年（山田年度）は卓話を10回にまで抑えることができました。地区から各委員会の委員をお招きし、最新の情報をお聞かせいただいで知見を広げることや、25周年記念例会のリハーサルによる卓話回数の軽減が功を奏しました。誰一人プログラムに穴を開けた卓話者もなく、皆さん粛々と予定をこなしていただきました。ご協力ありがとうございました。5大奉仕委員会のプログラムは、これといった新機軸は見いだせませんでした。コロナや会員数の少なさを言い訳にしていたましたが、委員長の力不足をお詫びします。

【クラブ奉仕委員会】

藤田 芳浩 委員長

2022-2023年度年間プログラムでは、第1107回例会から6月22日第1150回例会まで44例会となりました。ZOOM例会となった例会もありましたが、リアル例会が大半実施できて良かったと思います。クラブ奉仕委員会の親睦委員会・会員委員会・情報委員会の3委員会の皆様のご協力の賜物と感謝しております。今後も様々な状況が発生すると思いますが、従来の形にとらわれずに自由な発想で例会開催を会員全員で意見を出し合い試行錯誤していければ、さらに充実した活動ができると確信しています。皆様 これからもご協力宜しくお願い致します。

【親睦委員会】

藤田 芳浩 委員長

当初9月8日に予定していましたが「お月見例会」はZOOM例会からリアル例会に切り替わって9月22日ル・ジャルダンで開催できました。米山奨学生のグエンさんと会員17名参加で久々の楽しい会食となりました。以降12月22日「クリスマス例会」では、米山奨学生のエリカさん・アクサさん・グエンさんの3名と渡邊会員ゲストのコニャール様ご夫妻、会員15名で賑やかに開催できました。予定外のゲストの皆様の素晴らしい歌声で盛り上げていただき参加者全員で笑顔の記念写真が撮れました。

1月5日の「新年例会」では年末年始の楽しいお話が聞けました。4月6日の「お花見例会」は「みのお山荘 風の杜」で開催、久しぶりに下川元会員がご参加との予定でしたが、残念ながら実現せず次回のお楽しみとなりました。ただ、久しぶりに西本会員ご夫妻と山本 加奈子様が参加され、お元気で楽しく歓談出来ました。そして25周年記念となりました「創立記念例会」につきましては、別途ご報告があると思います。

以上今年度もこれらの親睦例会に本年度及び過去年度の米山奨学生の皆様やゲストの皆様が積極的に参加して頂き、盛り上げて頂きました。皆様に感謝申し上げます。

【会員委員会】

黒川 彰夫 委員長

本来ならば、歴代会長に集まって頂き、委員会を開くべきでしたが、開催しておりません。当会では会員資格の形式が様々であり、そこが今後の問題と指摘する意見もありました。

【職業奉仕委員会】

高尾 修 委員長（代読 山本幹事）

2022年4月9日「次年度の為の研修会・協議会」での職業奉仕部門会議や、2022年8月6日開催の職業奉仕委員長会議を通じて、職業奉仕を理解させて頂きました。

2023年1月「地区職業奉仕セミナーで、」千房株式会社 代表取締役会長 中井 政嗣様の「～実践力～こんなことなら誰でもできる」講演をZOOMにて参加させて頂き、お話に感銘を受けた次第です。

また1月26日地区職業奉仕委員会 副委員長 川上 和之様、委員の富川 和將様に素晴らしい卓話をして頂きまして、会員一同お礼を申し上げます。

2月16日には、職業奉仕フォーラムを開催しました。会員の皆様から、有意義な意見やお考えを聞くことが出来、職業奉仕に対し理解を深められた一年でありました。

【社会奉仕委員会】

松田 親男 委員長（代読 山本幹事）

山田年度冒頭には、「前年度に始まった放課後キッズ（子ども食堂）実施日に訪問して、少し汗を流す協力体験ができればと思っています」と言っていました。しかし、現実には汗をかく活動はできなかったことを報告いたします。

山田年度では、25周年記念例会にご参集頂いた方々のご了解を得て、この方々に対するお土産代を放課後キッズへの寄付金として、役立たせていただきました。ご参集者の皆様に感謝いたします。コロナも一段落したことですし、今年こそ、こども食堂で汗を流す協力をしたいと思っています。

【国際奉仕委員会】

水本 徹 委員長

「ロータリー財団委員会」・「米山奨学委員会」・「国際奉仕プロジェクト委員会」・「国際交流・青少年委員会」の4つの委員会で構成されており、当クラブの主たる奉仕活動であります「ラオス保健衛生支援」・「関西大学の留学生との交歓会」は各担当委員長から仔細報告がありますが、財団寄付及び米山記念奨学会への寄付を含め順調に行えたと思っております。各委員長殿に感謝申し上げます。

【米山奨学委員会】

水本 徹 委員長

昨年度からの米山奨学生グエン キム フンさん（ベトナム出身）は現在就職活動で忙しいのにも拘わらず時間の許す限り例会にも出席してくれ会員の皆様と交流してくれています。早く就職が決まる事を願って応援していきます。

【ロータリー財団委員会】

水島 洋 委員長

2022-23年度寄付目標として、ポリオプラス寄付 50ドル、年次基金寄付 150ドルの通知が地区よりありました。今年度は、それに加えて恒久基金寄付 30ドル/一人/年が新たに設定されましたが、理解し辛い内容であったため地区財団委員会に卓話をお願いし、その説明をしていただきました。その説明は、年次基金をお米に、恒久基金をりんごの実にたとえたもので、わかりやすかったと思います。その結果、クラブとしての恒久基金寄付の受入れを決定しましたが、本来寄付については本人の自由意思に任せるべきとの判断から金額を含めての各会員の申し込み制としました。その結果、今年度は10名×30ドルの恒久基金寄付を受け付けました。

【国際奉仕プロジェクト委員会】

黒川 彰夫 委員長

本クラブの伝統的活動である山本加奈子 関西医科大学看護学部教授によるラオスの保健衛生支援活動は本年3月に実施されましたが、今後も継続したいと考えています。

【国際交流委員会】

木下 健治 委員長

11月に関西大学の留学生との交流会を実施しました。コロナもかなり落ち着いていたので、久しぶりにリアルで開催し、山本教授様をはじめ、5名の留学生に出席頂き「コロナ禍でがんばったこと」をテーマに皆さんにスピーチを頂きました。皆さん自分の考えをしっかりと持ち、日本の学生にも見習って欲しいくらい目的を持って勉強されていました。関西大学からは、毎年優秀な学生さんに参加頂いているので、私たちも刺激を受けています。会員の皆様と事務局・会場スタッフのご協力のもと、コロナ中のリアル開催でしたが、無事に大盛況で終わることができました。



【青少年奉仕委員会】

木下 健治 委員長

社会奉仕委員会と協力して、子ども食堂の支援をしてきました。

枚方市で毎月1回木曜日に子ども食堂を開催されているので、9月に松田社会奉仕委員長と見学に行き、体育館でドッジボールをしたり、駆け回っている子供もいて、久しぶりに子供らしい姿を見ました。代表の青野様で成り立っている組織ですが、ボランティアで手伝いに来たり、有志から食材の提供もあり、今はコロナもありお弁当の提供ですが、豪華なお弁当です。子供たちは分け隔てなく、中学生までなら誰でも無料で持ち帰りできます。引き続きクラブとしても支援ができればと思います。春のRYLAセミナーには、6名の登録を頂きました。会員の皆様のご協力、誠に有難うございました。



<6月15日開催 理事会議事録>

山本 友亮 幹事

1. 25周年記念例会の総括

・ニコニコ奉仕金などからの拠出について

ニコニコとファインセッションの残高から100~120万円を周年費用として使用致します。
(周年事業の収支がまだ決定していないので概算にて)

・会員からの追加徴収の有無について

会員の皆様からは4万円をお願いするかもしれませんが、会員の皆様には2万円×1回とします。(すでに徴収済み)

・長谷川様・福島21RCへの御礼について

長谷川様・福島21RCともに記念誌完成後に記念誌を送付させて頂く事にします。
福島21RCには翠園の紹興酒を添えて送ります。

・各クラブなどへのお礼状について

メールではなく、封書にて送付します。

2. 事務局員の賞与について

例年通りの支給とします。

